

公的年金を受給できない理由書

証書記号番号	新 児 第 号 新児扶	氏名	
住 所			
父又は母の状況	口 死亡 ハ 障害	本人の状況	60歳以上
氏 名		生 年 月 日	年 月 日
住 所		死 亡 年 月 日	年 月 日
死 亡 の 原 因	1 業務上 2 病 死 3 その他 ( )		
年金の加入状況	加 入 期 間	勤 務 先 等	
1 国 民 年 金	・ ~ ・ ( )		
2 厚 生 年 金	・ ~ ・ ( )		
3 そ の 他	・ ~ ・ ( )		
( )	・ ~ ・ ( )		
<p>I 受給者本人が年金等を受給できない理由</p> <p>1 年金に加入していなかった。 (理由: )</p> <p>2 年金に加入していた。 (1) 受給者が年金に加入していなかった。 (2) 受給者と加入年金の種類が異なっていた。 (父: ) (母: ) (3) 年金の加入期間が受給資格を満たしていなかった。 死亡一時金の裁定請求の有無 (有 ・ 請求 ・ 請求無し) (4) 加入していたが、死亡時年金に未加入であった。 死亡一時金の裁定請求の有無 (有 ・ 請求 ・ 請求無し) (5) 保険料未納期間があった。 (未納期間 ・ ~ ・ ) (6) 初診日に年金に加入していなかった。 (7) 初診日前に保険料未納期間があった。 (未納期間 ・ ~ ・ ) (8) その他(理由: )</p> <p>3 受給していたが、失権した。(理由 )</p> <p>4 子の加算額が受給できない理由 (1) 障害(基礎)年金受給後、子が出生した。 (2) その他(理由: ) (3) 障害厚生年金3級を受給している。</p> <p>5 裁定請求していない。 6 その他(理由: )</p> <p>II 対象児童が年金等を受給できない理由 ア 受給者本人の理由に同じ。 イ その他(理由: )</p>			
<p>上記のとおり、相違ありません。 令和 年 月 日 請求者(受給者)氏名 (印)</p>			

(注) 請求者(受給者)は記名押印に代えて署名することができます。